

定員 40名

VRはバーチャル・リアリティ(仮想現実)の略。
 ゴーグルをつけ、認知症のある方が日常でどのよ
 うに感じているのかを本人視点で体験できます。



知ることは、支える力になる

VR認知症体験会

4月19日(日) 14:00~15:30

(受付 13:30~)

↓場所が変更になりました

場所

専門店側団体コミュニティルームWeWe(イオン大木店内)

対象

どなたでも

内容：VR体験

グループディスカッション

講師：株式会社シルバーウッド

参加費

無料



問い合わせ・申し込み先

※4月15日までに事前申し込みが必要です。

大木町役場

福祉課



0944-33-0657

VR認知症は「銀木犀」から生まれました



VR認知症体験プログラムは、当社が運営するサービス付き高齢者向け住宅「銀木犀」から生まれました。銀木犀は入居者の約9割の方が、軽度認知障害（MCI）を含めた認知症のある方たちです。入居者の方たちと関わる中で、社会の認知症に対する偏見を感じてきました。

自分が認知症を経験したことがないから、認知症のある方に共感をしにくく、「もう何も分からなくなってしまった人」「何だか怖い」といった感情につながるのでは。そんな思いから、認知症がある方たちの世界を一人称体験する「VR認知症」が生まれました。

体験者の声

認知症については、全て理解しているつもりでいたが、上から目線だったのかもしれない。“症状”を見て“ご本人”を見ていなかったのかもしれない。

● 認知症専門医

認知症の方の気持ちを理解し寄り添いたいと思って来たがなかなかできなくて苦しんでいた。体験を通じてこれから自分がどうしていけばいいのかわりとわかった気がして涙が出た。

● 介護職員

認知症に対して「大きな負」のイメージしかなかったが、体験を通じて負のイメージがなくなった。

● 大学生

10年前にこの体験ができていたら自分の母親に対する介護が変わっていたかもしれない。今介護をしている家族に見てほしい。

● 介護家族

今まで受けてきた講義とは全く違う理解の仕方で驚いた。VR体験の力に大変驚かされた。

● 認知症認定看護師

現在父親の介護中だが早速、接し方を変えていきたいと思った。

● 介護家族